

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成26年12月24日に不適合管理委員会で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 9件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	サービス建屋1階出入口扉西側コンセントにおいて、焼損(進展性の無い焦げ痕)が認められたため、当該原因調査・対策検討。 なお、消防署による現場確認で火災でないと判断された。	GⅡ	
2	1号機	12/20 18:30の地震発生時において、「出力領域中性子束計測装置軽故障」及び「制御棒引抜監視装置高/機器動作不能」の警報が発生したが、復帰しないことが認められたため、当該原因調査・対策検討。	GⅢ	
3	2号機	遠隔操作監視装置モニタNo.1において、ディスプレイ(映像表示器)に映像が映らない状態が認められたため、当該原因調査・対策検討。 なお、モニタNo.2は正常であり監視は可能。	GⅢ	
4	2号機	換気空調系タービン建屋給気排気ファン軸受温度計において、指示不良(徐々に指示値が「0℃」に低下する)が認められたため、当該温度計を点検・修理。	GⅢ	
5	3号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器(B)入口第2弁において、弁操作無しで全開から全閉となる事象が認められたため、当該原因調査・対策検討。	GⅢ	
6	3号機	起動変圧器3SA-2電力量計点検において、計器に電源が入力される都度、計器デジタル表示部にエラー表示が発生する事象が認められたため、当該電力量計を交換。	GⅢ	
7	3号機	中性子束計測系起動領域モニターチャンネルC・G及び平均出力領域モニターチャンネルC・D記録計において、記録用紙の詰まりによる欠測が認められたため、当該原因調査・対策検討。	GⅢ	
8	4号機	換気空調系タービン建屋給気ファン出口流量計において、タービン建屋給気ファンがすべて停止しているにもかかわらず、タービン建屋給気ファン出口流量が $3.1 \times 10^4 \text{ m}^3/\text{h}$ を指示していることが認められたため、当該計器を点検・修理。	GⅢ	
9	その他	気象観測用温度計・湿度計用記録計において、記録不良(記録用紙の紙送り不良に伴う時間遅れ)が認められたため、当該記録計を点検・修理。 なお、本件は記録計単体の故障で、各観測装置については正常に観測を実施。	GⅢ	